

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科昼間部		科目区分	基礎分野	授業の方法	講義
科目名	英語Ⅱ(医学英語)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時間	後期 水曜3限	教室名	4校舎401教室
担当教員	ILC	実務経験と その関連資格				
<p>《授業科目における学習内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療現場で、使用頻度の高い英文法を会話に当てはめて使えるようになること。</li> <li>・授業でのコミュニケーションな会話の練習を通して、英語話者である患者、顧客、同僚に対応する際に必要なアウトプット、インプット両方の能力を養う。</li> </ul>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>期末試験において60%以上の得点をもって合格とする。</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>Sweet 「Medical English Communication, 3rd Ed.」 医療英語コミュニケーション</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>それぞれのチャプターには英語のダイアログがあり、教科書の後ろのページには日本語訳と用語集も載っているので、授業前に読んでおくようにして下さい。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>現在、企業の種類にかかわらず英語力のある人が求められていると思います。臨床検査技師にとって役立つ英語と実用的に使える英語を勉強しましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	イントロダクション、テキストの説明、病院受付に関する単語を覚える。		医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。	
	各コマにおける授業予定	チャプター1 (pp.6-11) 受付 Orientation & procedure: First time questions - medical versus social. How to use the MEC text. Please complete this unit in one lesson				
第2回	授業を通じての到達目標	初診、再診の方などの基本的な患者対応ができる。		医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。	
	各コマにおける授業予定	チャプター1 (pp.6-11) 受付 conversation at the reception				
第3回	授業を通じての到達目標	病院内を案内できる。-①		医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。	
	各コマにおける授業予定	チャプター2(pp15-17) 病院案内: 各科への行き方、案内の仕方("where", "what",前置詞) 症状と診療科の種類 Locations and directions II. (continued) Symptoms and their treating departments.				
第4回	授業を通じての到達目標	病院内を案内できる。-②		医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。	
	各コマにおける授業予定	チャプター2(pp15-17) 病院案内: 各科への行き方、案内の仕方("where", "what",前置詞) 症状と診療科の種類 Locations and directions II. (continued) Symptoms and their treating departments.				
第5回	授業を通じての到達目標	体の部位を学び、痛み(症状)を説明できる。		医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。	

5 回	義 形 式	各コマに おける 授業予定	<p>           チャプター3 (pp.18-21) 体の部位、痛みの表現 現在完了形            を使用した期間の表現 Body parts and descriptions of pain.            Expressing duration with the present perfect tense.         </p>	<p>           医療英語ーミニ            ニケーション         </p>	<p>           フォレストの該当箇所を予            習復習する。         </p>
--------	-------------	---------------------	---	--	---

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者の訴えや症状を正確に聴取し、情報収集できるコミュニケーションを学ぶ。	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター4 (pp.24-28) 基本的な症状の表現、症状の問診 Additional symptoms and asking about them.		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診時に使用する重要英語表現を習得する。-①	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター5 (pp.30-32) 問診 患者に症状、家族歴、既往歴、継続期間を尋ねる(現在完了形) Illnesses and symptoms I. Discussing symptoms, family history, illnesses, etc. using the present perfect tense.		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診時に使用する重要英語表現を習得する。-②	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター5 (pp.33-34) 問診 患者に症状、家族歴、既往歴、継続期間を尋ねる(現在完了形) チャプター1-5の復習 Illnesses and symptoms I. Discussing symptoms, family history, illnesses, etc.. Review Units 1 - 5		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの有無や生活習慣、嗜好品についてたずねる問診表現を習得する。-①	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター6 (pp36-41) 問診 生活習慣についての質問、頻度の表現を使つての薬の処方		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギーの有無や生活習慣、嗜好品についてたずねる問診表現を習得する。-②	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター6 (pp36-41) 問診 生活習慣についての質問、頻度の表現を使つての薬の処方		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診しながら患者に身体測定の方法を説明できる。	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター7(pp.42-45) 身体測定・診察時の表現、患者への丁寧な説明方法 Physical Examination. Command language, common instructions, weights, measures.		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	バイタルサインと測定する時の単位について学ぶ。	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	チャプター8 バイタルサイン Vital signs: students will learn how to describe vital sign measurements to patients.		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	口腔器官の名称と、舌運動、嚥下スクリーニング検査時の会話ができるようになる。	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	STに関連した英会話1 Oral organ anatomy. Students will be able to direct patients during tongue movement and swallowing screening tests.		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下内視鏡検査(VE)時の英会話ができる。	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	STに関連した英会話2 Students will learn and use terms and phrases during a video endoscopy.		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	今までの総復習	医療英語コミュニケーション	テキストの該当箇所を予習復習する。
		各コマにおける授業予定	試験に向けての復習		